

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 桜木荘作成日: 令和 4 年 6 月 2 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ収束後には、外部からの参加委員の増員を図り、ホームの運営だけでなく、地域の困りごとにも一緒に取り組んでいけるような会議を目指していく。	元家族や地域住民、他グループホーム管理者等、委員の増員を図り、テーマを決めてミニ勉強会を行う等、内容の充実を図り、多様な意見や提案が集まる活発な会議運営に取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	現在、コロナ禍で研修の機会も少なくなっているため、内部での勉強会の充実を図り、外部研修受講(リモートを含む)や資格取得を積極的に奨励し、全体の質の向上に繋げていく。	定期的に内部研修を実施し、コロナ禍の為、外部研修には行きにくい状況であるが、リモートで行われる研修を積極的に受講する等、職員一人ひとりのスキルアップに取り組んでいく。	12ヶ月
3	11	運営に関する職員意見の反映	コロナ禍の為、大勢で集まる職員会議を控えていたが、感染状況を見ながら職員会議を再開していく。	職員が集まりやすい日中の時間帯で会議を開催し、意見や要望、気づきを共有し、検討する機会を設けることで、職員の意見を運営に反映させていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。